

NP5Y-Challenge50

決算説明資料

2020年3月期第1四半期



Listed Company 4241

2019年8月
株式会社アテクト
NP5Y-Challenge50

NP5Y-Challenge50

2020年3月期第1四半期 業績総括



Listed Company 4241

全社連結業績

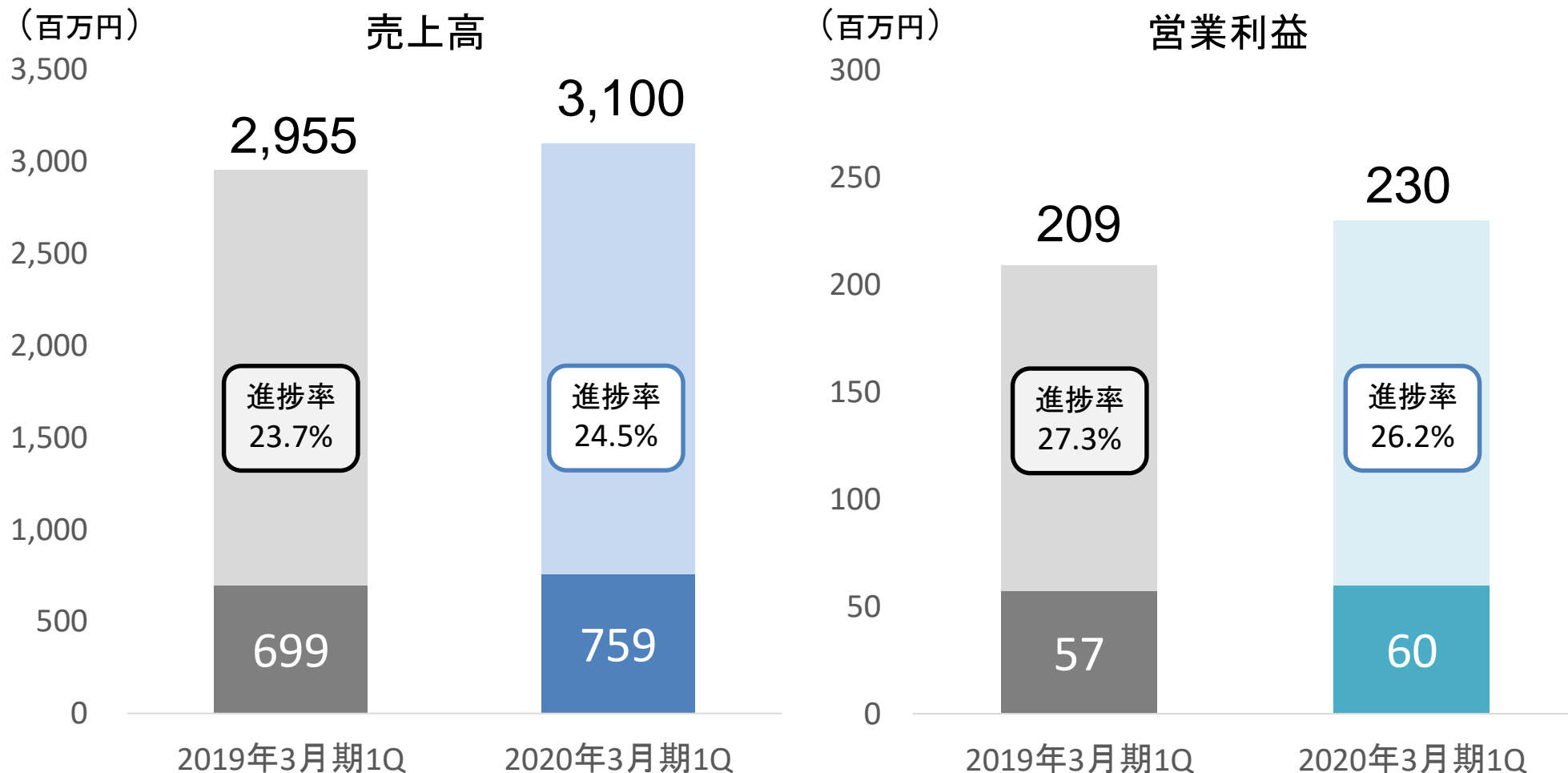
atect

(百万円)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
売上高	699	759	59	8.5%増
営業利益	57	60	3	5.5%増
	8.2%	7.9%		
経常利益	51	46	▲4	9.2%減
	7.3%	6.1%		
第1四半期 純利益	34	31	▲3	10.6%減

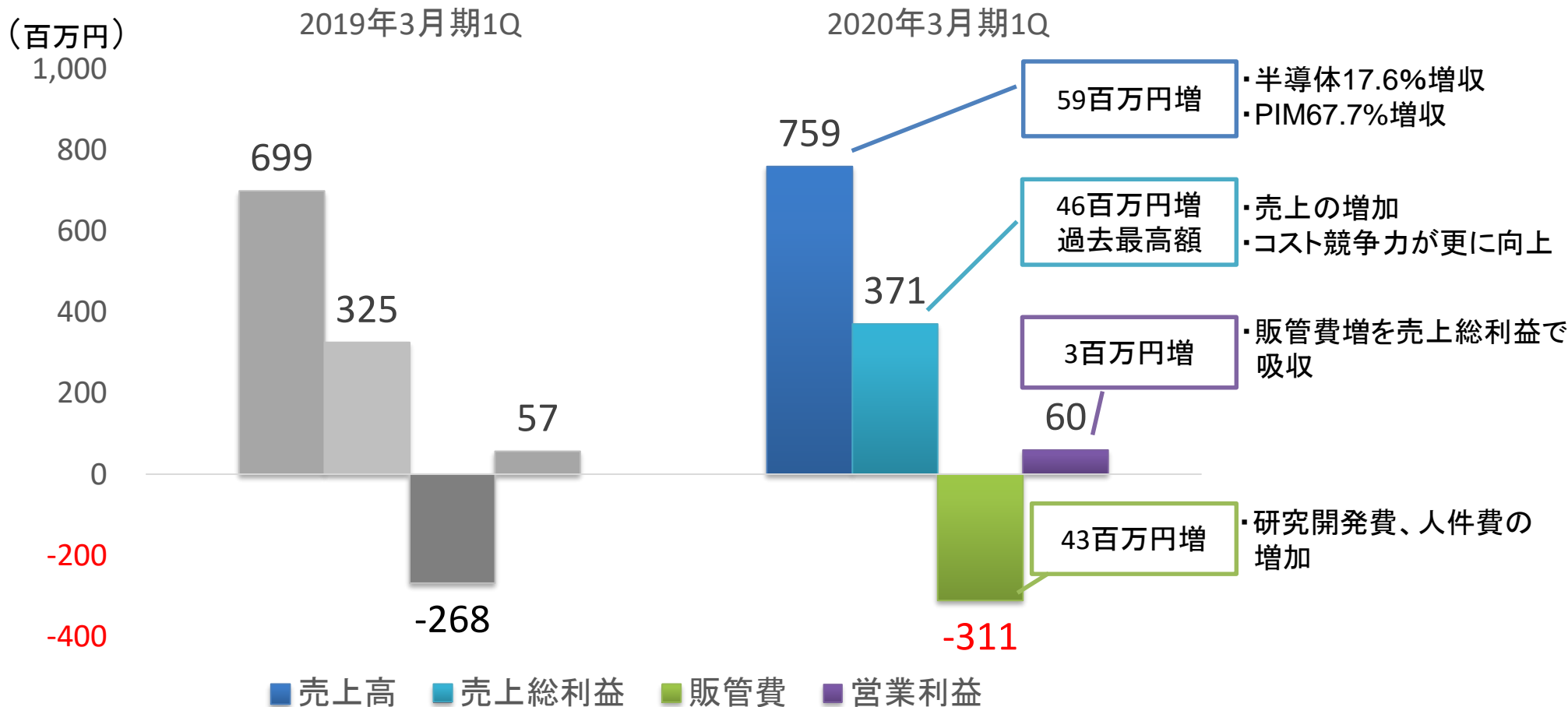
売上高8.5%増収、営業利益5.5%増益
為替差損5百万円計上により最終利益はやや減益

今期計画に対する進捗



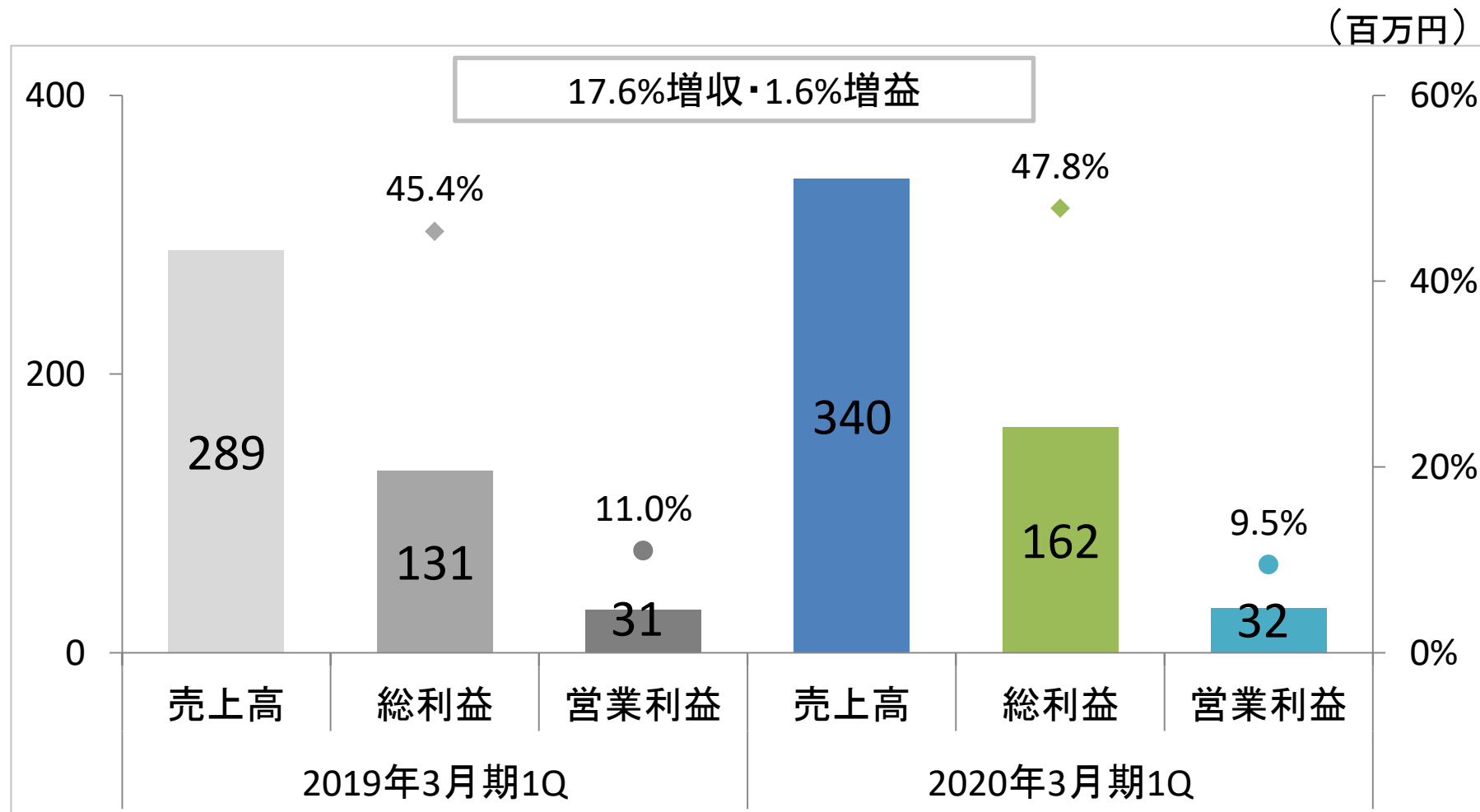
半導体資材事業・PIM高機能部品の販売伸長が牽引役となり通期業績予想に対して順調な滑り出し

2020年3月期1Qサマリー



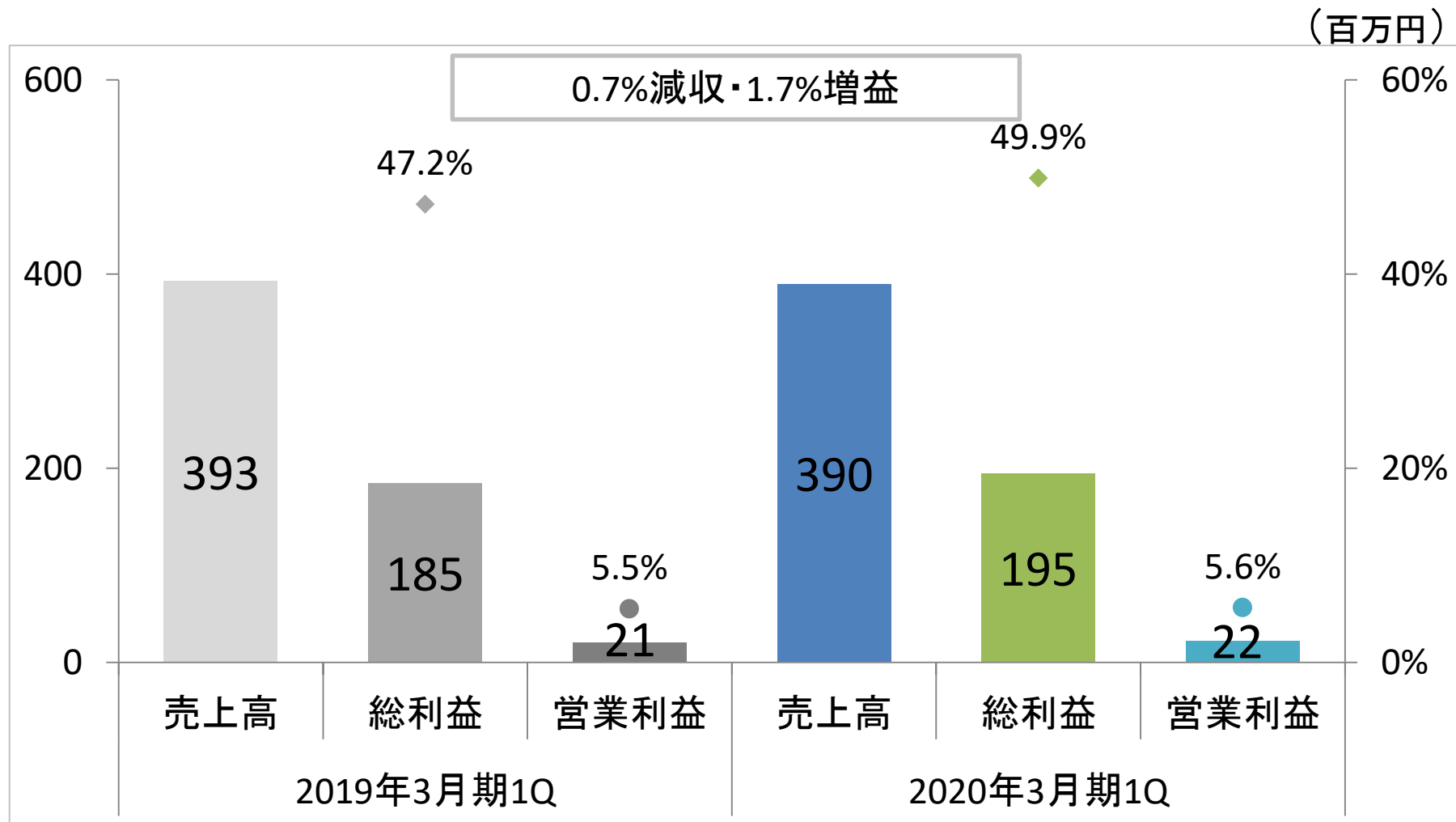
四半期単独総利益(14.3%増)は過去最高を更新
販管費の増加(43百万円)を吸収し、3百万円の増益

セグメント別業績(半導体資材)



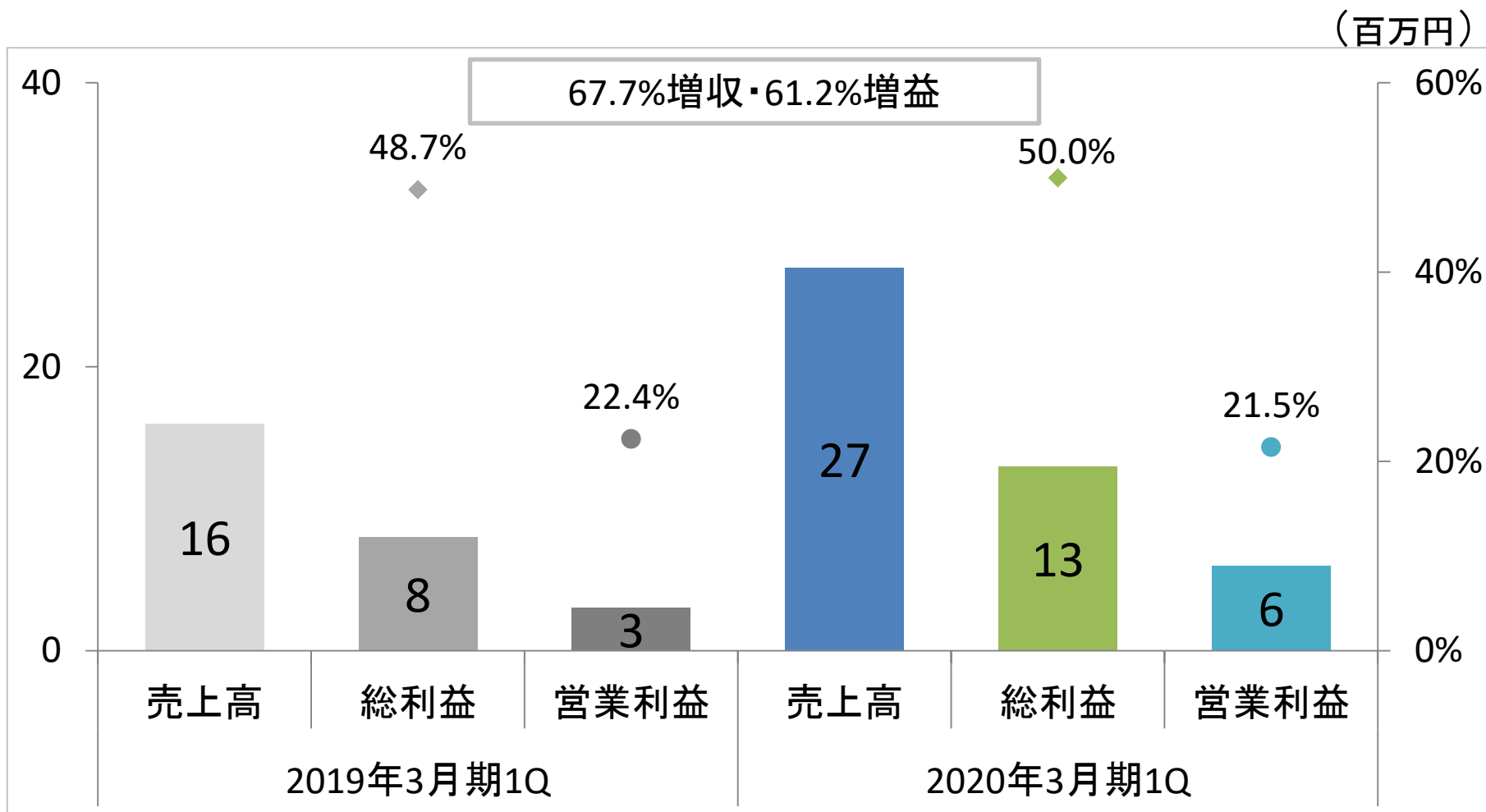
販売数量21.8%増、4K比率拡大とスマートフォン向け本格採用により
当面、旺盛な需要が続く見込み

セグメント別業績(衛生検査器材)



シャープ製造部門の原価低減活動が奏功し、前期に実行した在庫の圧縮が完了したことから総利益が大幅に回復

セグメント別業績(PIM)

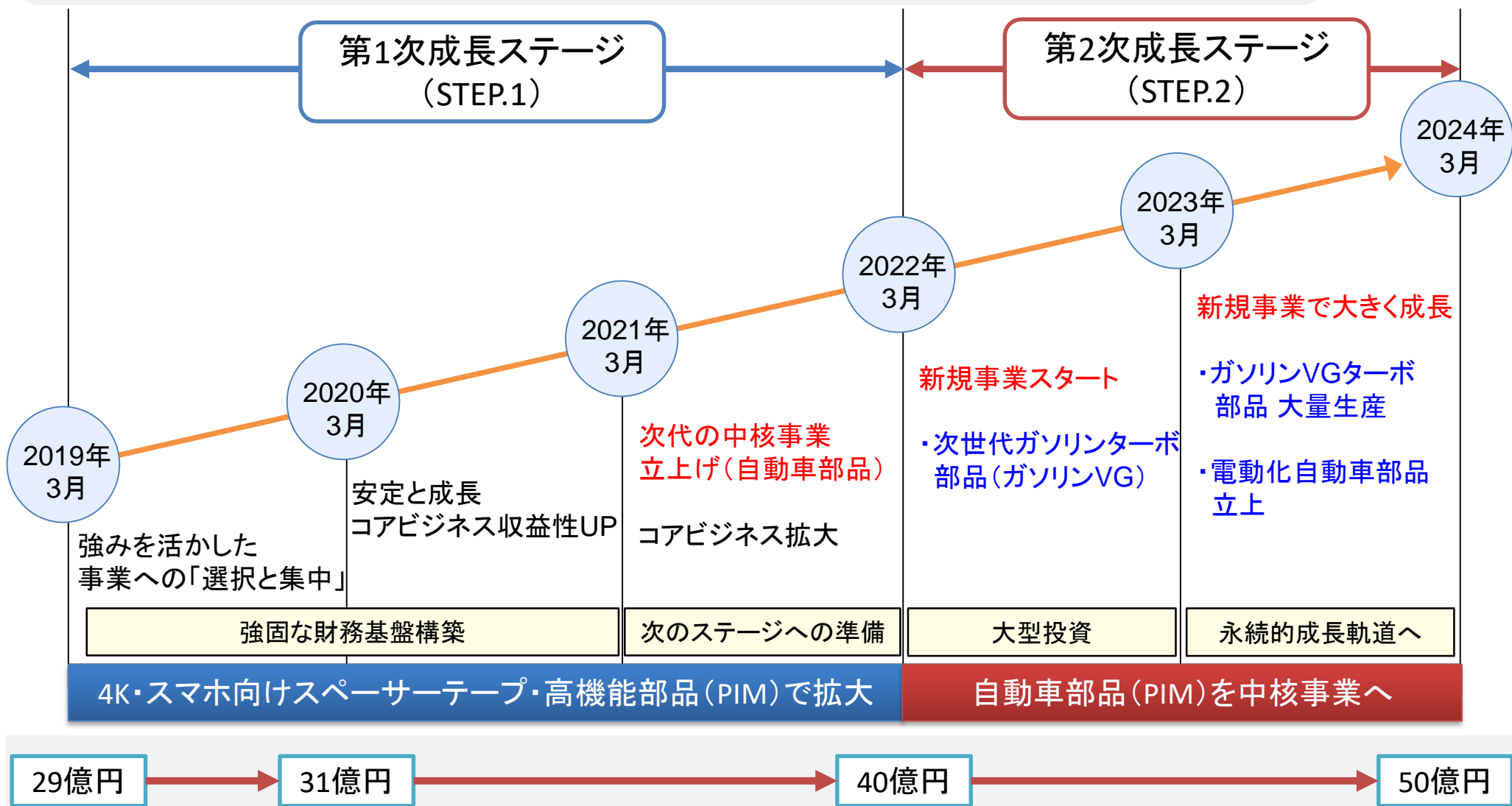


高機能部品8件を新規に受注、材料販売も12社から15社に拡大

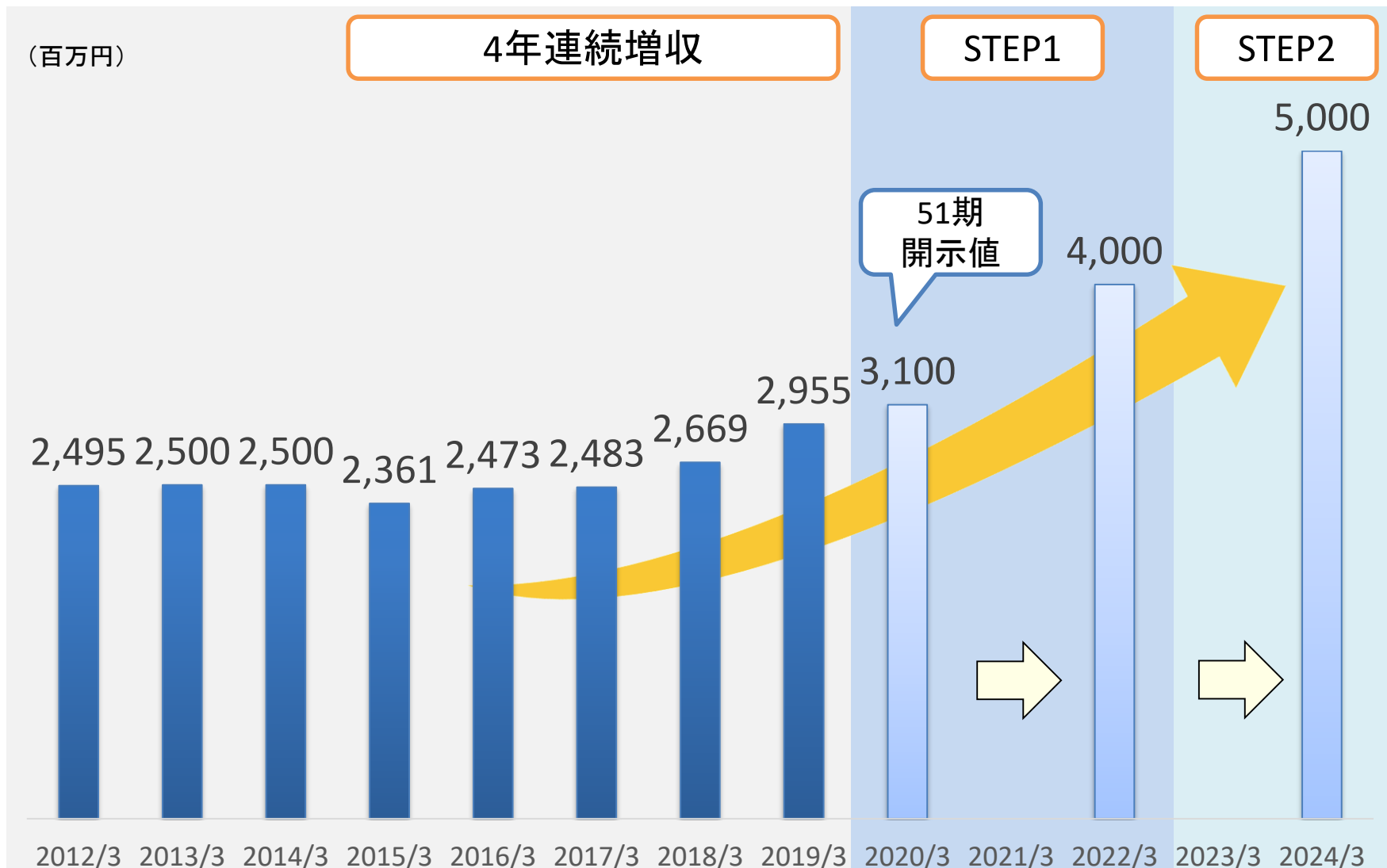
中期経営戦略

新5ヶ年計画：NP5Y-Challenge50進捗

中期経営計画



当社が確実に成長できる分野へ、経営資源「ヒト・モノ・カネ」を集中する



第1次成長ステージ

4K・スマホ向けスペーサーテープ・高機能部品(PIM)で拡大

●韓国生産能力増強

昨今の経済情勢を熟慮し、韓国生産比率を6割から8割に拡大し、韓国生産拠点で初の2シフト体制を開始。

韓国輸出規制対象となっている半導体の三材料については当社製品及び、当社顧客である韓国COFメーカーにおいて、使用は認められず、影響はないと考える。

●高機能部品の受注状況

前期まで獲得の11品番に加え、当第1四半期において高機能部品8件、材料販売3件を新規に受注

●自動車部品事業立上げの前倒し(2022年⇒2020年)

大手ターボメーカーと自動車用ターボ部品、ノズルベーンをはじめとする数品種の量産に関する基本合意を締結

今後約1年以内の間に下記手順により量産準備に入る

- ・試作(当社)
- ・評価(客先)
- ・承認(自動車メーカー)
- ・量産最終合意
- ・検査装置他準備(当社)
- ・工程監査
- ・量産開始(当社)



限られた現有の経営資源「ヒト・モノ・カネ」を再配分
⇒中期経営戦略見直しを視野に入れ自動車部品立上げに注力する

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 経営企画部 IR担当

TEL:0748-20-3400

E-mail: ir@atect.co.jp